

東日本大震災 今、私たちのできることは？

3月11日午後2時45分頃、「東北地方太平洋沖地震」が発生しました。地震や津波で多くの人命が失われました。心からお悔やみ申し上げます。また、被災された方々にお見舞い申し上げます。一日も早い復興のためみんなで力を合わせましょう。

13日に義援金活動始める

「東北地方太平洋沖地震」の被災者への救援活動が、現在各地で行われています。

日本共産党厚木市議員団は、13日午後、本厚木駅前で「救援募金」の訴えを行いました。緊急の連絡だったので参加者は少数でしたが、1時間弱で5万円近くの募金が集まりました。「何かしなければと思っていました。よろしく願います」「共産党は早いな」。その後も募金活動を行っています。

厚木市では14日(月)の朝から、災害義援金を駅前で訴える予定でしたが、小田急が全面運休。通勤者は、シャッターの閉まった前で困惑しています。タクシースターには長蛇の列が。そのため駅前での募金活動は急ぎを取りやめ。3月18日から21日まで行いました。

厚木市議会も協力し、釘丸議員、栗山議員もスピーカーを持って訴えました。

買い物したおつりをそのまま入れていく人。お母さんからお金をもらって募金箱に入れる子どもたち。わざわざ銀行からお金をおろして入れてくれる人。「今朝もやっただけ、また入れるか」と言う人も。

今週の活動から



東日本大震災後の3月13日(日)本厚木駅前北口で救援募金を訴えました。(右:釘丸久子議員、左:栗山香代子議員)

3月11日の地震の名称は？

3月11日、地震が発生した直後、気象庁が発表した「東北地方太平洋沖地震」。これが地震の正式名称。

地震の被害が大きい時には「〇〇震災」と名前をつける。NHK・日赤などは「東北関東大震災」。新聞・TVなどマスコミでは「東日本大震災」「東北・関東大地震」「東日本巨大地震」など系列各社で呼称が違っている。

ちなみに阪神淡路大震災の地震名は「平成7年(1995年)兵庫県南部地震」。

計画停電は地域丸ごと停電。街灯も信号も消える。

計画停電は地域の情報に注意をして、それだけでできることをやってみよう。

計画停電で市民生活が混乱

地震による津波で、福島第1原子力発電所が機能停止。放射能が基準値を超え、半径20キロ圏内は避難、30キロ圏内は屋内退避が求められています。このため東京電力は、計画停電を実施。各地で混乱が生じています。「停電になるかと思っただけで、これでは『無計画停電』だ。やるなら計画通りやってほしい」「自分の住んでいるところがどのグループなのか、停電時間もわからない」。

また、公共施設の閉館にも大きな影響が。市民課の証明業務、図書館の貸出業務は停電中はストップ、公民館などは停電中と5時以降は閉館。中町立体駐車場と厚木公園地下駐車場は計画停電予定時間は入庫できません。学校給食は、食材確保と電気の供給が不確定のため今学期中は中止。子どもたちは弁当持参です。

いま私たちができることは

厚木でも米やカップ麺、乾電池など防災用品が商品棚から姿を消しました。必要以上の買いだめは控えましょう。

厚木市では、保存食・生活用品・衣類等の支援物資を募集していますが、少量でさまざまな種類が集まると、被災地での配や仕分け作業が困難となります。品目ごと・箱単位での提供を呼び掛けています。

被災地はまだボランティアの受け入れはできていません。今後の情報に注意をして、それだけでできることをやってみよう。

現在までの厚木市の取り組み

- ◎東北地方太平洋沖地震緊急支援対策本部を設置。
- ◎地震発生日に帰宅困難者を公共施設で受け入れ。
- ◎災害義援金活動

3月16日から21日まで本厚木駅や愛甲石田駅などで募金活動を実施。自治連や県人会、社協、日赤厚木市地区、民生児童委員など。厚木市議会も一緒に。市役所、公民館など公共施設に募金箱を設置。

◎被災者の受け入れ

- ・七沢自然ふれあいセンター
- 原発事故の被災者200人、4月30日まで。宿泊・食事の提供。日常生活物品の支援を検討中。近隣の小中学校に転入。市のバスで通学予定。
- ・東町スポーツセンター(一時的な避難場所)
- 地震・原発の被災者100人。3月19日～25日。武道場・会議室。毛布を提供。食事は各自の対応。

◎消防隊が被災地援助で出発。

◎被災地に毛布・非常食などを送付。

◎桜まつり、厚木市緑のまつりなど、イベント中止。



消防緊急援助隊活動中